

佐野市景況レポート

令和5年7～9月期



佐野商工会議所
〒327-0027 佐野市大和町 2687-1
TEL 0283 (22) 5511 FAX 0283 (22) 5517
HP <https://www.sanocci.or.jp>
E-mail s-cci@sanocci.or.jp
調査協力：佐野市あそ商工会

《 概 況 》

コロナ禍・アフターコロナの弊害顕在化

【 令和5年7～9月期 実績 】

全業種業況DI指数は▲23.9、前期（3月期）比▲1.2ポイント。市内事業所の景況感は前期に比べ若干低下しました。

売上高DI指数は▲25.7（前期比▲8.0）と大きく下がり、利益DI指数も▲39.4（前期比▲5.8）と低下しました。また、今期は、販売経費DI指数30.7（前期比+13.0）と大きく上昇しており、小売・飲食業における電気・燃料費等の高騰が影響している推測されます。

【 令和5年10～12月期 見通し 】

全業種業況DI指数は▲22.2（前期比+0.2）。今後3カ月間の景況感は前期9月期並みの見通しです。売上高DI指数▲17.4（前期比▲3.2）、原材料・仕入価格指数46.8（前期比+0.3）、販売価格指数8.8（前期比+0.2）と、売上DI指数は低下し、原材料・仕入価格指数と販売価格指数は9月期並みの見通しです。

【 事業所等の景況コメント他 】

事業所からの景況に関するコメントには、前期同様に原材料・仕入価格、電気料金の高騰が全業種で記載されています。今期の特徴は、①ゼロゼロ融資（コロナ融資）の返済負担、②原料・仕入価格高騰の販売価格への転嫁困難、が挙げられます。コロナ禍・コロナ禍後の負担が厳しくなってきたように思えます。

当地域企業の現状は、コロナ禍に受けたダメージとコロナ禍後の新たな環境変化対応の負担など様々な負担が生じています。厳しい現状を乗り越えることで新たな発展が見込めます。先をみて、前へ前へ進まれることを期待します。

〔佐野市内における業況天気図〕

	実 績 (令和5年7～9月期)		見通し (令和5年10～12月期)	
業 況	▲23.9		▲22.2	
売 上 高	▲25.7		▲17.4	
販 売 価 格	13.9		8.8	
仕 入 価 格	58.2		46.8	
労 働 力	▲19.2		—	—

* 天気図の説明
(数字はDI値)
・仕入価格、販売経費、在庫はDI値をマイナス評価

晴れ	薄日	曇り	小雨	雨
26以上	11～25	10～▲10	▲11～▲25	▲26以下

調査協力：OKコンサルティング 代表 岡野 清（中小企業診断士）

☆ 業況について（令和5年7～9月期実績）



全業種DI指数▲23.9、前期比▲1.2ポイント低下

業種別DI指数（上位5業種）

- ①建設業 0.0ポイント、②小売業(飲・食料品)▲9.1ポイント、③設備業▲11.5ポイント、④食品製造業▲20.0ポイント、⑤卸売業▲22.0ポイント

良い
↑
悪い



☆ 原材料仕入価格・仕入価格について（令和5年7～9月期実績）



全業種DI指数 58.2、前期比▲2.0ポイント低下

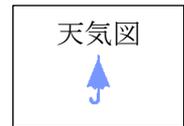
業種別DI指数（上位5業種）

- ①飲食店 80.0ポイント、②小売業(飲・食料品)72.4ポイント、③食品製造業 71.4ポイント、④その他の製造業 69.2ポイント、⑤その他の小売業(大型店含む)65.6ポイント

上昇
↑
下落



☆ 売上高について（令和5年7～9月期実績）



全業種DI指数▲25.7、前期比▲8.0ポイント低下

業種別DI指数（上位5業種）

- ①小売業(飲・食料品)8.6ポイント、②食品製造業 0.0ポイント、③卸売業▲15.0ポイント、
- ④飲食店▲17.1ポイント、⑤繊維品製造業▲20.0ポイント

増加
↑
減少
↓



☆ 受注販売価格・商品販売価格について（令和5年7～9月期実績）



全業種DI指数 13.9、前期比▲1.0ポイント低下

業種別DI指数（上位5業種）

- ①小売業(飲・食料品)37.5ポイント、②その他の小売業(大型店含む)35.3ポイント、
- ③食品製造業 25.0ポイント、④飲食店 21.1ポイント、⑤建設業 18.1ポイント

上昇
↑
下落
↓



☆ 製品（材料）在庫・商品在庫について（令和5年7～9月期実績）

天気図



全業種DI指数 1.6、前期比 3.6ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

- ①化学・プラスチック製造業 24.7ポイント、②小売業(飲・食料品)8.6ポイント、③その他の小売業(大型店)7.9ポイント、④卸売業 7.7ポイント、⑤繊維品製造業 6.7ポイント

過大
↑
↓
不足



天気図



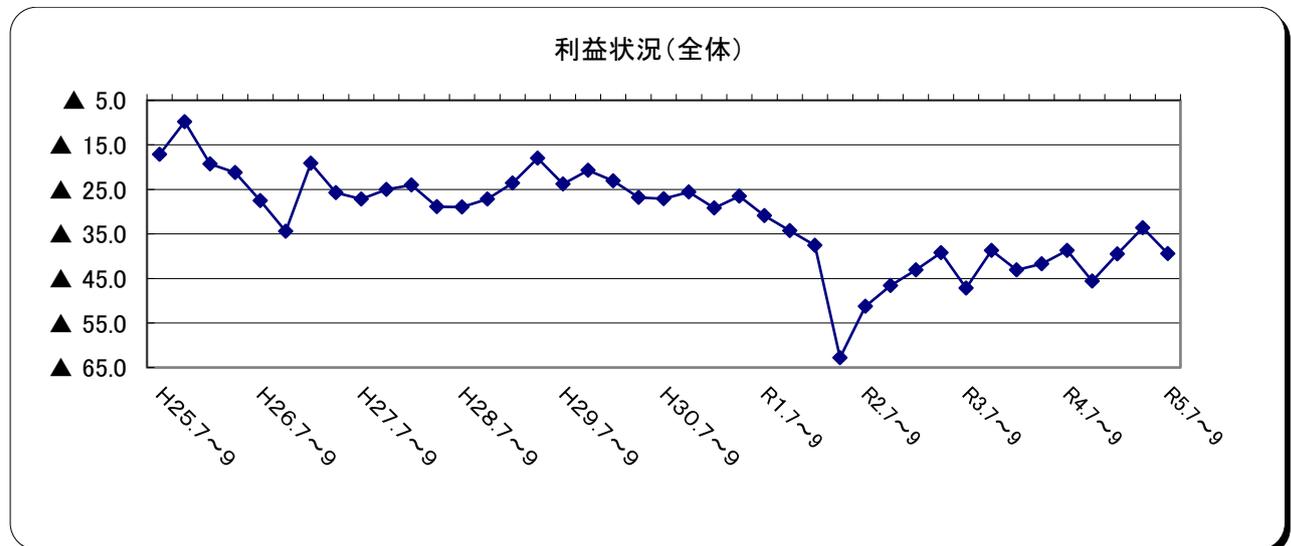
☆ 利益状況について（令和5年7～9月期実績）

全業種DI指数▲39.4、前期比▲5.8ポイント低下

業種別DI指数（上位5業種）

- ①小売業(飲・食料品)▲18.8ポイント、②設備業▲19.1ポイント、③卸売業▲22.0ポイント、④食品製造業▲33.3ポイント、⑤その他の製造業▲34.9ポイント

増加
↑
↓
減少



☆ 資金繰りについて（令和5年7～9月期実績）

天気図

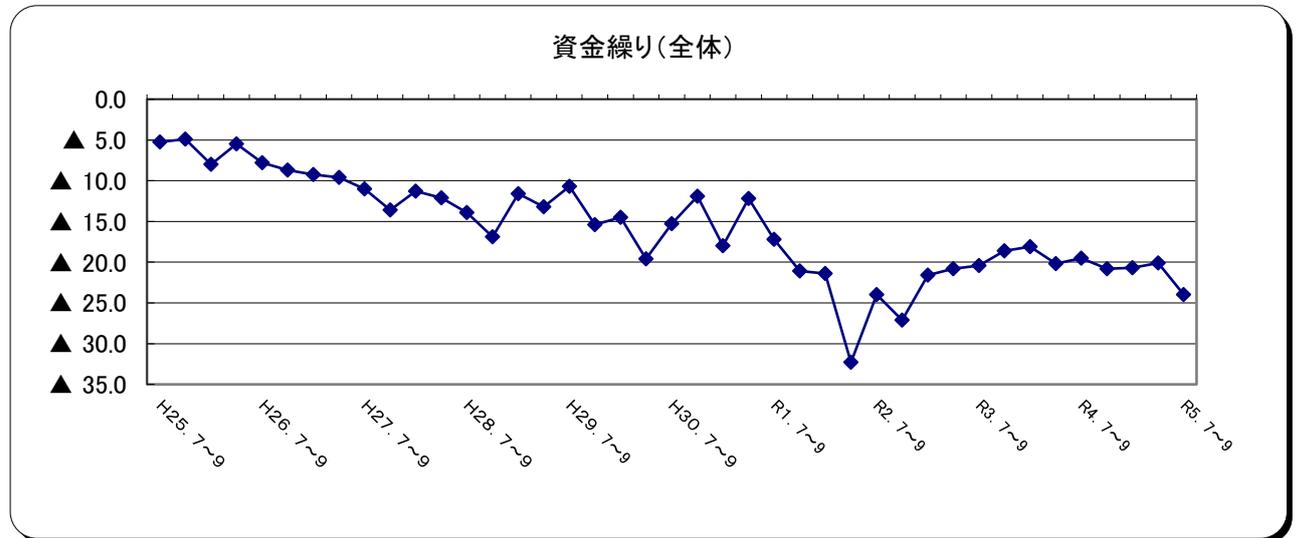


全業種 DI 指数▲24.0、前期比▲3.9 ポイント低下

業種別 DI 指数（上位5業種）

- ①卸売業 7.0 ポイント、②その他の製造業▲6.4 ポイント、③食品製造業▲19.1 ポイント、④小売業(飲・食料品)▲20.0 ポイント、⑤繊維品製造業▲20.9 ポイント

楽
↑
↓
苦しい



☆ 労働力について（令和5年7～9月期実績）

天気図

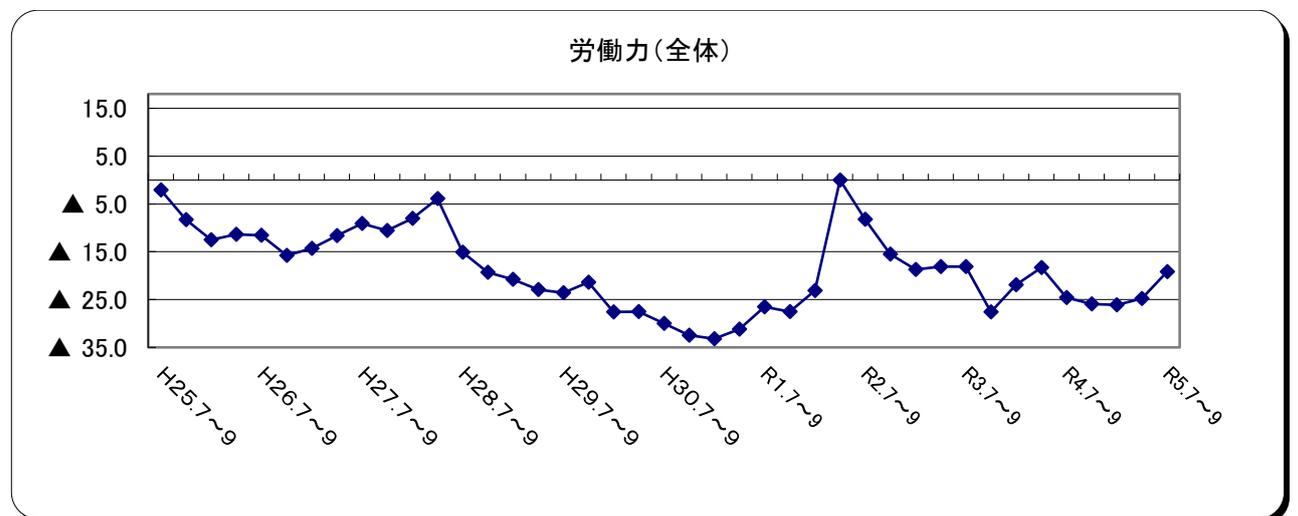


全業種 DI 指数▲19.2、前期比 5.6 ポイント上昇

業種別 DI 指数（上位5業種）

- ①機械・金属製造業 4.0 ポイント、②繊維品製造業▲0.0 ポイント、③その他の製造業▲6.4 ポイント、④化学・プラスチック製造業▲7.1 ポイント、⑤サービス業▲14.3 ポイント

過剰
↑
↓
不足



☆ 設備稼働率について (令和5年7~9月期実績)
(建設・設備・製造業関係)



全業種DI指数▲14.6、前期比▲1.4ポイント低下
業種別DI指数(上位5業種)

- ①食品製造業0.0ポイント、②設備業▲12.0ポイント、③繊維品製造業、その他の製造業▲13.0ポイント、④建設業▲14.3ポイント、⑤化学・プラスチック製品製造業▲37.5ポイント

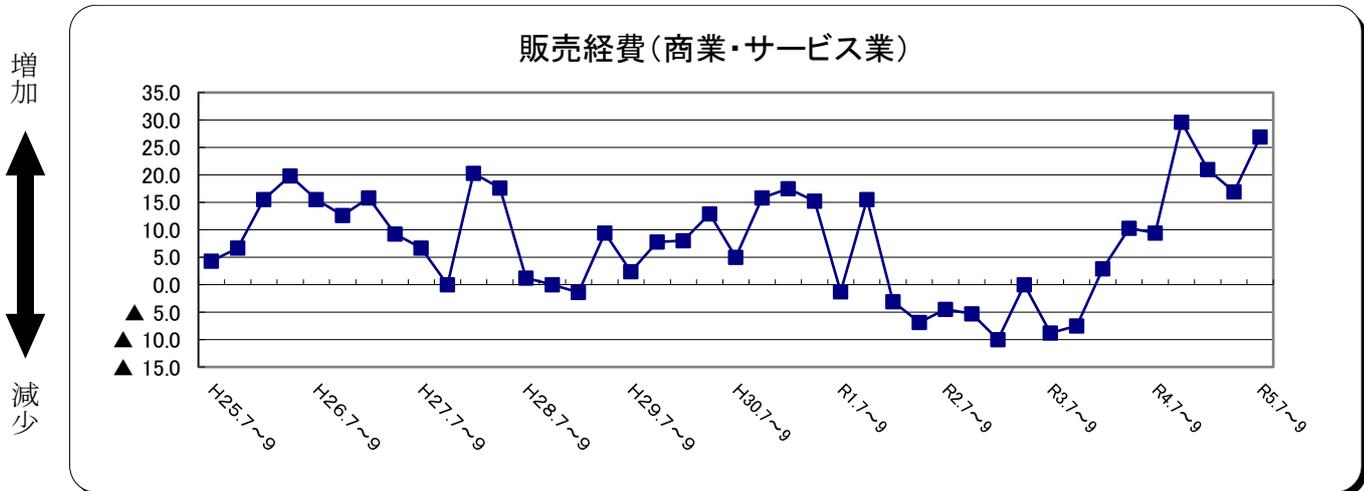


☆ 販売経費について (令和5年7~9月期実績)
(商業・サービス業関係)



全業種DI指数30.7、前期比13.ポイント上昇
業種別DI指数(上位5業種)

- ①小売業(飲・食料品)60.0ポイント、②その他の小売業(大型店含む)41.5ポイント、③飲食店27.3ポイント、④卸売業22.0ポイント、⑤サービス業18.5ポイント



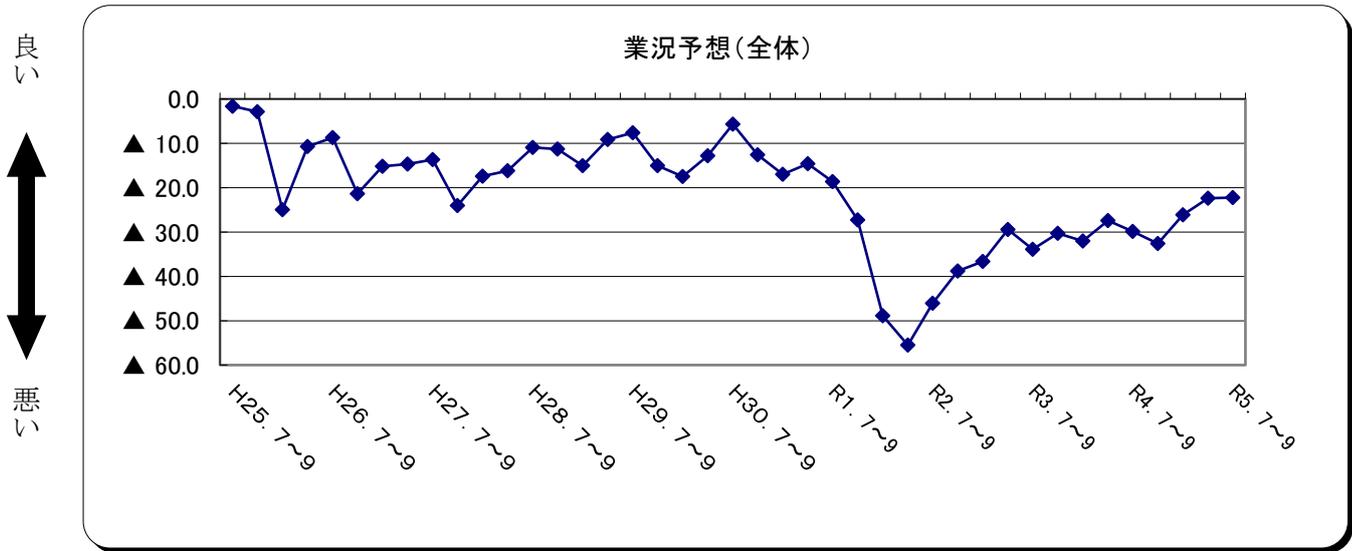
☆ 今後3ヶ月先（令和5年10～12月期の見通し）の業況について



全業種DI指数▲22.2、前期比0.2ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

- ①建設業▲3.6ポイント、②設備業▲11.1ポイント、③食品製造業▲12.5ポイント、
- ④飲食店▲17.1ポイント、⑤小売業(飲・食料品)▲17.6ポイント



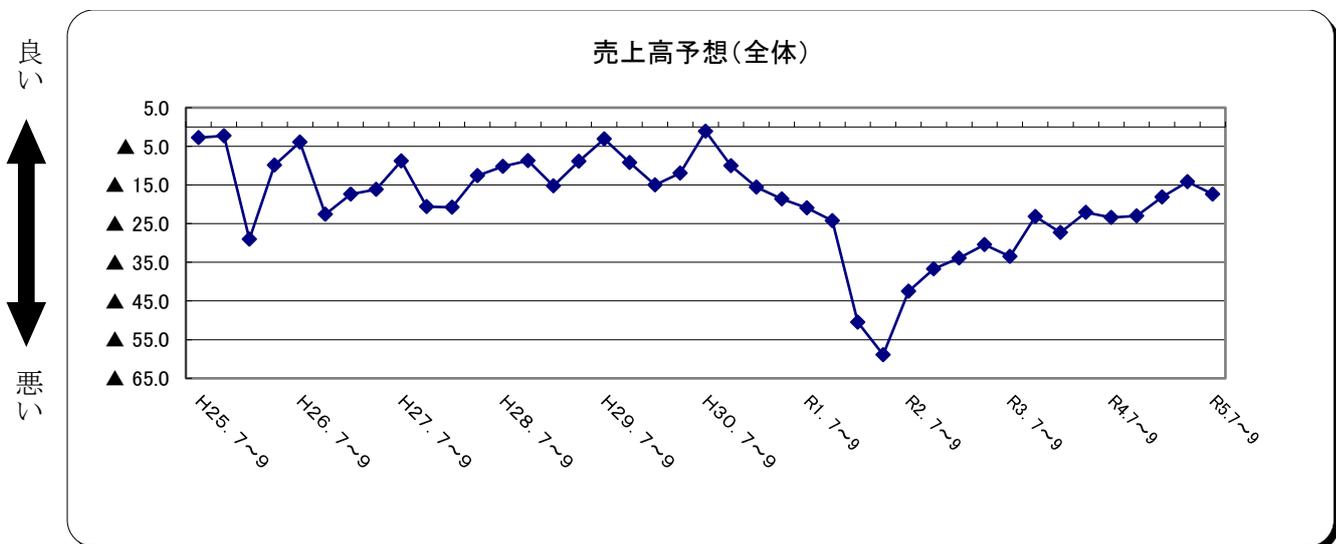
☆ 今後3ヶ月先（令和5年10～12月期の見通し）の売上高について



全業種DI指数▲17.4、前期比▲3.2ポイント低下

業種別DI指数（上位5業種）

- ①食品製造業 13.0ポイント、②小売業(飲・食料品)9.1ポイント、③その他の製造業▲13.0ポイント、
- ④卸売業▲15.0ポイント、⑤建設業▲15.4ポイント



☆ 今後3ヶ月先（令和5年10～12月期の見通し）の原材料仕入価格・仕入価格について



全業種DI指数 46.8、前期比 0.3ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

- ①飲食店 67.7ポイント、②建設業 61.6ポイント、③小売業(飲・食料品)60.0ポイント、④食品製造業 54.5ポイント、⑤サービス業 52.0ポイント

上昇
↓
下落



☆ 今後3ヶ月先（令和5年10～12月期の見通し）の受注販売価格・商品販売価格について

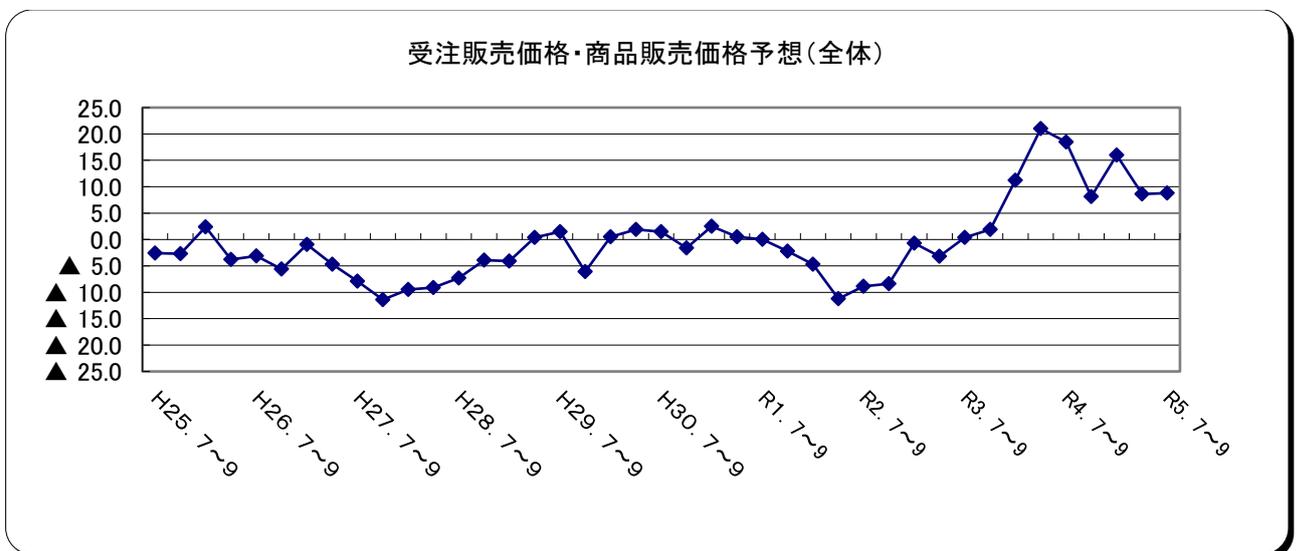


全業種DI指数 8.8、前期比 0.2ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

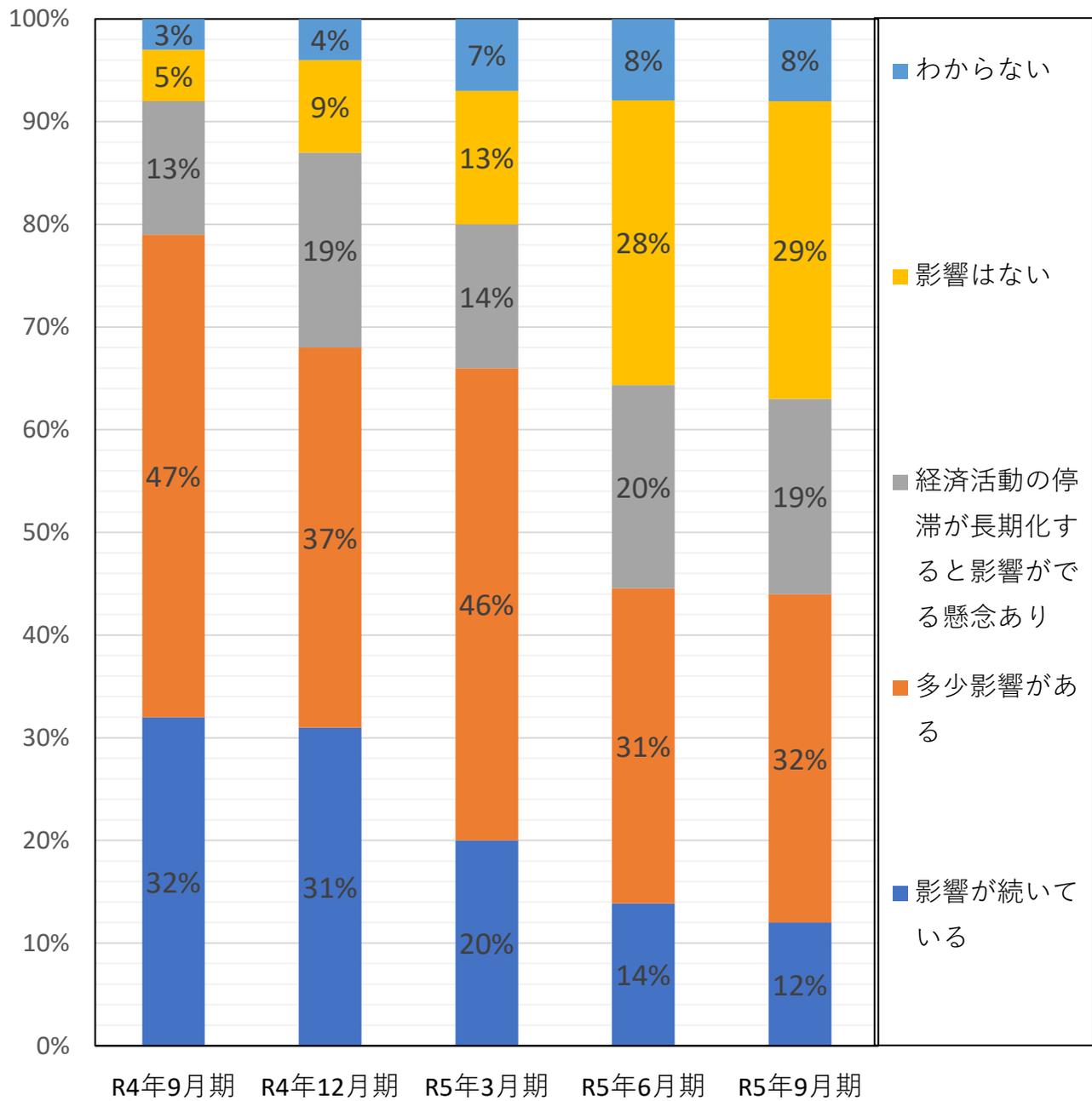
- ①その他の小売業(大型店含む)33.3ポイント、②小売業(飲・食料品)17.6ポイント、③卸売業 15.0ポイント④その他の製造業 13.0ポイント、⑤機械・金属製造業 11.4ポイント

上昇
↓
下落



新型コロナウイルス影響の推移

(令和4年9月期～令和5年9月期)



☆ 市内各事業所からの景況に関するコメント ☆

※景況調査にご協力いただきました事業所のうち、「景気に対するコメント欄」にご記入いただいた内容を、そのまま掲載しております。

建設業

- ・融資の返済が始まったのと、燃料の資材の高騰が売上げにひびいてくる様に感じられます。又、他の事業に着手する余裕はない。
- ・集客は減少しています。
- ・燃料代の高騰がひびいている。
- ・物価上昇でかなりの影響を受けている状況です。
- ・前年度にくらべてみると、新年度より少し動きが良くなっているように思います。後半年度末に期待します。

設備工事業

- ・電気代、燃料代の高騰が続き製品価格の大幅な値上げは避けられない。今後も景気が好転する材料がなく、依然として先行きは不透明な見透しである。
- ・働き方改革の対応。

繊維品製造業

- ・輸入品は円安の為コストの上昇を招いている。
- ・求人しても応募がありません。給与が安いのでしょうか？人手不足です。

食品製造業

- ・パートさんを雇用しようと思っても、なかなか上手くいきません。10月からは、賃金の値上げも始まります。物価も上がっています。本当に先行きが不透明です。
- ・2024年度の新卒採用について、学生の数が減り応募する企業の数が増え、過去にない採用率の悪さとなる。

機械・金属製品製造業

- ・10月より販売価格アップの予定。
- ・半導体業界の受注が50%以上落ち込んでおり、年内に回復するのが厳しい見込みである。
- ・日本だけ出遅れ感が有るのは、隣の芝生は青く見えるのと同じでしょうか？
- ・副資材の値上り分が客先に転嫁しづらい。

化学・プラスチック製品製造業

- ・まだ一部の輸出品関係はコロナの影響で戻っていない。(東南アジア関係)
- ・景気はあまり良い方ではないと思います。仕入価格は高い状態です。
- ・昨年冬から今年春頃まで原材料不足だったが(市場に)、一転市場にリサイクル材があふれ需要が落ち込んでいる。
- ・設備投資が少ない、客先製品の原油高が影響有り、年末に向けて引合は増えているが、注文に至らない。様子見が続くそう。
- ・中国が景気悪い為。
- ・コスト増を製造原価に転嫁出来ないで苦勞している。
- ・業績の回復が遅れている。特に中国向け製品の出荷が戻って来ない。
- ・需要の低迷が続いている。今後も需要の回復は見通せない。
- ・7月売上、景気回復と思ったが8・9注文減少。7月の1/3~1/4 9月です。
- ・電気および原油などの価格上昇の影響があります。

その他製造業

- ・コロナ後のオフィスのありようが明確になっていない。出社なのか自宅勤務なのか、オフィス需要なのか、方向が決まらないと注文が増えない。先々は明るいと思う。
- ・コロナによる影響はもうほぼ無いが、仕入材の物価上昇(値上げ)の影響は甚大である。特に円安の影響が大きい。

卸売業

- ・住宅は材料の値上りで建売等が今年は低調かも。
- ・コロナ禍中は好影響の方が多かったが、5類移行後はマイナス影響が目立つ。
- ・電気代、燃料費その他の経費上昇の影響が大きい。利益を出す工夫に限界を感じます。
- ・隣国の不景気は間違いなく影響が大きくなっていくので、色々考えていかないとなりません。
- ・9月～10月値上続く。
- ・部品、製品ともに生産拠点が海外(東南アジア等)に移っていることもあって、納期の長期化につながっている。特にコロナ禍の中必要な商品の入荷が難しい。

小売業 (飲・食料品)

- ・景気が悪い中での現状維持、もちあいです。
- ・現状と変わらないではないかと思う。ただ回復力が(先行きの)ないのではないかと？
- ・全ての原材料、包装費、光熱費等上がっているため苦勞している。経費の高騰に値上げが追いつかない。最低賃金 1500 円になるとニュースで見たが、うまく経済が回っていない今言われても困ってしまいます。
- ・何もかも値段が上がり、お客様にも値上げせざるを得ない状況ですが、日本全体のボトムアップにつながればとも思います。
- ・約1年間仕事を休んでおりましたが、今年2月再開しました。現在佐野市、館林を中心に営業しております。商品もリニューアルしましたが、まだお客様には認知されておりません。
- ・年内まで仕入価格の値上りの案内がきています。まだまだ苦しいです。

その他の小売業 (大型店含む)

- ・大型店の出店による売上高減少が苦しい。
- ・コロナが、また息をふきかえた様で、ずっと景気に影響しております。
- ・ガソリン価格及食品の仕入が上昇、お客が少ない。ガソリン価格が急に下がり、地下タンクの高い燃料が残っていて下げられない。
- ・商品価格が上がったので数量が減少している。特にカレンダー、タオル類。
- ・先行き見通しが無いので、不安に感じています。
- ・気温が高すぎる。
- ・マスク生活が長く続いていたので、更に節約モードが続いている。
- ・改装を実施している事もあり、数値は 〇〇 に推移している。コロナもネガティブな影響は小さくなっています。
- ・仕入価格上昇、集客が落ちていっている。

飲食店

- ・バイトが見つからず店を開けられない日がある。
- ・プレミアム付商品券の反響あります。今後期待しています。
- ・コロナよりも天候・世界情勢などにより、全ての物が値上りをしている中で、中々それを販売価格に転換できない状況にある為大変厳しい状況が続いている。
- ・コロナと増税
- ・少しずつ戻って来たかと思うと、またコロナが増えてくりかえし悪化してしまう。先が見えず不安です。
- ・新店舗は来年の夏頃になりそうです。
- ・入荷商品、原価、光熱費等の経費が止まらない。
- ・コロナ以前に戻りつつありますが、仕入れ・光熱費等が上がりその分を価格にのせる

事が中々難しいのが現状です。

- また最近コロナが増えてきているので、この先が心配である。
- 借入の返済が負担になっている。
全ての物が値上りする中、電気・ガスの公共料金の上昇は痛い。人件費の上昇は個人店にはムリ。
- 光熱費の上昇がとまりません。
- 仕入価格の高止まりに困っています。
少しずつお客様が戻って来たように感じます。
- 団体客の予約がさっぱりです。これからキタイしております。
- 最近ラーメン店の新規オープンが続いています。ますます競争がはげしくなります。
- 仕入価格の値上げに売価の改正が間に合いません。

サービス業

- コストが上昇している。
- 気になる点として最近コロナになったというお客様が増えている事です。引き続き感染防止対策に取り組んで行きたいと思えます。
- 少しずつお客様が外に出る機会が増え、団体のお客様のご予約もだんだん増えてきました。
- コロナの影響が少なくなり利用率が戻りつつあるところに今年早くからの暑さで熱中症を警戒する動きとなり、6~7月頃より利用が少なくなってきた。又、コロナが盛り返して来たりインフルエンザの流行が起きると利用率の減少になってくる。
- コロナの影響は直接ないにしても間接的には出て来ると予想。円安もダイレクトに(仕入れ)感じているので先行き不安。
- 消費税の支払いについて未だに慣れない。コロナ融資の返済や給与値上げ、その他の支払いがかさんでいる。売り上げても支出も増えているので余裕がない。更に営業努力は必要と感じている。
- 新型コロナの影響で“見学者”数も半減(2020~2023年)したため売上が減。もち直すために広告費を増やし集客増を目指す。
- 酷暑には抗がえない。
- 原材料の高騰により価格の値上げが目立つ。今後の景気にも影響が出ると思う。
- 学校・病院などでコロナのクラスターが出ているので影響はあると思えます。
- コロナも明け、夏のレジャーなどの客足が伸びてきました。季節が変わる中、色々仕掛けて魅力ある施設づくり・サービス提供をしていきます。

佐野市景況調査 要項

- 1 調査時期 令和5年7月～9月
- 2 調査業種 佐野市内に本支店を有する建設業・製造業・商業・サービス業・飲食店など290社（内訳：佐野商工会議所地区（旧佐野市）200社、佐野市あそ商工会地区（旧田沼町・旧葛生町）90社）を対象として実施し、198社（回答率68.2%）から回答がありましたものを取りまとめたものです。

(1) 建設業

① 建設業	25社
② 設備工事業	21社

(2) 製造業

① 繊維品製造業	22社
② 食品製造業	18社
③ 機械・金属製品製造業	40社
④ 化学・プラスチック製品製造業	36社
⑤ その他の製造業	22社

(3) 商業・サービス業

① 卸売業	15社
② 小売業（飲・食料品）	23社
③ その他の小売業（大型店含む）	27社
④ 飲食店	19社
⑤ サービス業	22社

3 分析方法[景況動向指数（DI）による]

景況指数は、好況・不況の差を指数にしたものであり、基準指数が「0」で上限限度は、+100・-100となり、プラスは景況の好転、マイナスは景況の悪化をあらわしている。

$$\text{DI方式は、} \frac{3x - 3z}{3x + 4y + 3z} \times 100 \text{により算出}$$

x：「良い」「増加」「騰貴」「過多」等の回答企業数

y：「普通」「ほぼ同様」「適正」の回答企業数

z：「悪い」「減少」「下落」「不足」等の回答企業数

- 4 主 管 佐野商工会議所
- 5 調査協力 佐野市あそ商工会
- 6 お問合先 佐野商工会議所経営支援課 TEL（代表）0283-22-5511



佐野商工会議所